



三星の風

第53号
平成23年
3月28日
鹿児島県立
鹿屋高等学校

自分の信ずる道を進む三星健児に

三〇七人が巣立った第六十三回卒業式

三月一日、第六十三回卒業式が、多数の来賓の皆様の御臨席の下、盛大に挙行されました。六十三期生の男子一五八人、女子一四九人、計三〇七人の卒業生は、それぞれが晴れやかな表情で、様々なことにチャレンジし続けた高校生活を振り返りながら、これからの上級学校での勉学や実社会での仕事に対する決意を新たにしました。

大迫勝次校長は式辞の中で、「謙虚に学び続け、未見の我を発見してほしい。人、自分、仕事に対して誠実に生きてほしい。そして、たくましく生きる力を身に付けてほしい。」と果敢に立ち向かうよう励まし、地元の内之

浦から打ち上げられた小惑星探査機「はやぶさ」の偉業に触れました。

また、中原浩一PTA会長は、ルネッサン入期の「レオナルド・ダ・ビンチ」の「私は実際に行動することの大切さを痛感している。知るだけではないけない、知識は活用しなくては。」の言葉を交えて激励されました。

さらに、生徒会長の濱田一平君の送辞に対し、卒業生代表の諏訪原健君が、答辞をすべて暗唱して堂々とこたえました。

卒業生全員が、当日の晴天のように晴れやかな表情で母校を後にしました。



卒業証書授与



校長式辞



卒業生答辞暗唱(諏訪原健 君)

東日本大震災義援金活動(生徒会)

未曾有の大震災が東北・関東地方を襲い、多くの犠牲者と避難生活を余儀なくされている方々に、心からお見舞い申し上げます。

鹿屋高校では、早速、生徒会を中心に募金活動を行いました。3月28日に行った募金活動では、120,424円が集まりました。

また、今後も大隅地区の全高校が一体となり、街頭募金活動を行うことになりました(南日本新聞や各報道機関でも紹介されました)。4月3日(日)にプラッセだいわで行った募金活動では、146,201円が集まりました。

今後も、大隅地区が一体となり活動を続けて参ります。

うれしいニュース

「PTA便り」が鹿屋市で最優秀賞

平成22年度鹿屋市PTA広報紙コンクールで、「鹿屋高校PTA便り」が、最優秀賞を獲得しました。広報部の皆さんの日ごろの努力が見事に実りました。

なお、鹿児島県PTA広報紙コンクールでも高校の部で佳作となり、二重の栄冠を達成しました。

四月の主な行事予定

- 四月
 - 一日(水) 学年始休業「～五日」
 - 六日(水) 新任式 始業式
 - 入学式準備
 - 七日(木) 入学式
 - 八日(金) 実力考査(二・三年) 「～一日」
 - 一日(木) 対面式
 - 新入生テスト(一年)
 - 二者面談(二・三年) 「～二三日」
 - 二日(火) 朝課外開始(二・三年)
 - 胸部X線検査(一年)
 - 部活動紹介(一年)
 - 三日(水) 尿検査一次「～四日」
 - 歯科検診
 - 四日(木) 内科検診(一年)
 - 部活動見学ツアー(一年)
 - 五日(金) クレペリン検査(一年)
 - 八日(月) フレンドシップウィーク 「～二三日」
 - 九日(火) 内科検診(三年)
 - 一〇日(水) 宿泊学習(一年) 「～二三日」
 - 二二日(金) 一日遠足(二・三年)
- 都合によって変更・追加される場合があります。
- 詳細は学校にお問い合わせください。

毎月発行するこの「三星の風」は、鹿屋高校のホームページにも掲載されています。

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Kanoya/>
「鹿屋高等学校」でも検索できます。

平成22年度 学校関係者評価結果について

学校関係者評価とは、本校内で行われる自己評価（生徒・教職員）を基にして、保護者や地域住民・中学校関係者等の代表の方々5人を評価委員として依頼して、本校の重点目標について評価していただく制度です。評価を実施することで、学校の組織的・継続的な改善、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくり、学校の教育水準の向上等を目指しています。本年度は、第1回を7月7日（水）に、第2回を9月18日（土）文化祭当日に、第3回を2月18日（金）に開催しました。

評価項目（重点目標）	評価	委員からの要望等
1 生徒と教員が一体となって授業等に取り組み、進路実現へのモチベーションを高める。	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・大隅地区の進学校として熱心に取り組み、ある程度の成果を上げている。 ・授業参観した際、生徒の授業に対する態度が良かったことが印象に残った。 ・習熟度別授業が行われているが、伸びる生徒を更に伸ばすためのクラス編制も考慮してはどうか。
2 生徒は、学校行事（体育祭、文化祭、部活動）等に積極的・主体的に取り組み、三星健児として凛々しく活動させる。	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は学校行事に積極的に取り組んでいる。生徒の生き生きとしている姿をもっと校外へ発信して生徒募集に生かしてほしい。 ・文化祭を見学し、生徒が力強く楽しそうに活動している姿が印象的であった。 ・生徒の主体的な活動の様子を学校便り等を通してよく発信している。
3 服装・あいさつなどの基本的な生活習慣を確立させ、交通安全指導を十分に行って事故・違反防止に努める。	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・服装の乱れはみられなかった。保護者は通学時の事故が一番心配であり、交通安全指導はより一層力を入れてほしい。 ・生徒のあいさつが元気がよく、気持ちがいい。
4 生徒との個別面談やカウンセリング等を充実させ、保護者等との連携を十分に図る。	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での教育相談において、カウンセリングの先生を交えて意見交換をしているのを知り、生徒のことをよく考えていることが分かった。 ・不登校、保健室登校の生徒の状況とその対応には一層力を入れてほしい。
5 校内からの情報発信を活発に行うとともに、校外でのボランティア活動や部活動の実績を向上させ、入学生徒の確保に努める。	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会の際の学校紹介DVDは、中学生が鹿屋高校のことをよく理解する上で効果的であったと思う。 ・学校のホームページで鹿屋高校のよさを積極的に情報発信してほしい。
6 その他		<ul style="list-style-type: none"> ・各種アンケートの集計結果が前年度よりも良くなっており、学校が生徒のことをよく考えておられる結果だと感じた。 ・難しい時代であるからこそ、学校と家庭との連携をより一層密接に図り、生徒が豊かな学校生活を送れるようにしてほしい。

評価は4段階評価。

評価基準；4 = 十分評価できる 3 = おおむね評価できる 2 = あまり評価できない 1 = ほとんど評価できない






